

平成19年度第4四半期「景気動向調査」結果報告

景況感、製造業・非製造業ともさらにDI値低下

コメント：【製造業】

今後の業界景気予測では回復が見られた一方、経済全体予測では大きくDI値が低下。両予測とも厳しい見通しをされている。

売上(出荷)高・景況感の対三カ月前比では、前々回調査で調査開始(平成16年2月)以来最も良いDI値を記録しプラス値に転じたが、前回大きくDI値が低下し今回の調査で持ち直していくか否か注目されたが、いずれもDI値がさらに低下した。対前年比においても、DI値が低下した。

原油高騰の影響に関しては「経営を揺るがす程」が33.3%、「経営努力の範囲で対応できる程」が62.5%であった。

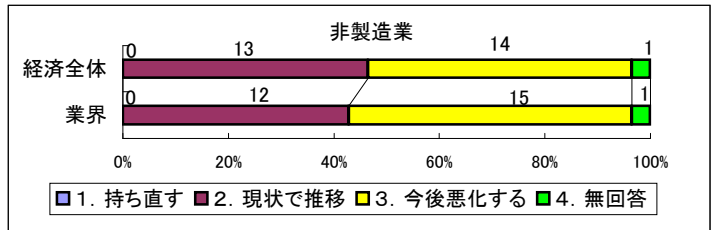
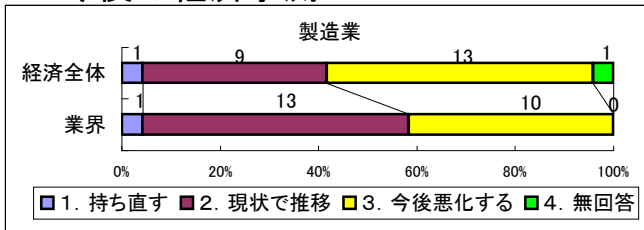
【非製造業】

今後の業界景気予測ではやや回復感が見られた一方、経済全体予測ではDI値が低下。両予測とも▲50超と厳しい見通しをされている。

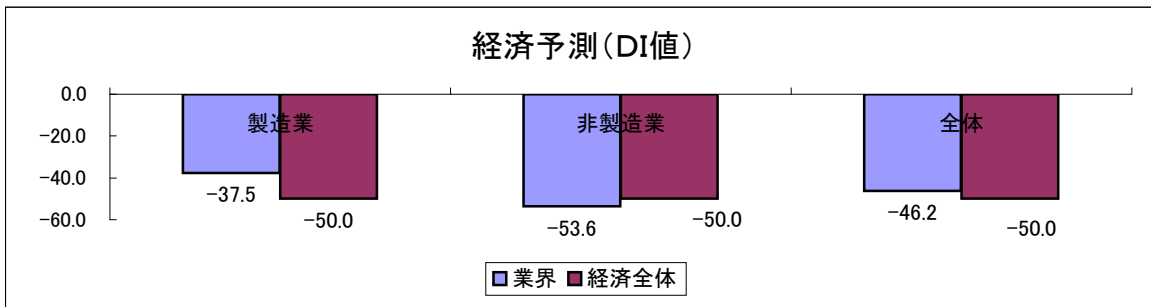
売上(出荷)高・景況感の対三カ月前・対前年比のいずれの項目においても、前回DI値から低下。特に対三カ月前比項目では今後の景気予測同様、DI値が低位を記録した。

原油高騰の影響に関しては「経営を揺るがす程」が28.6%、「経営努力の範囲で対応できる程」が67.9%であった。

1. 今後の経済予測



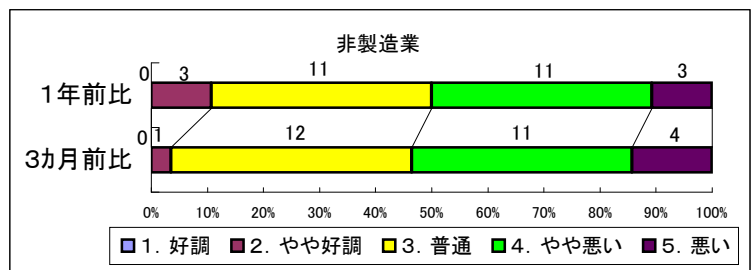
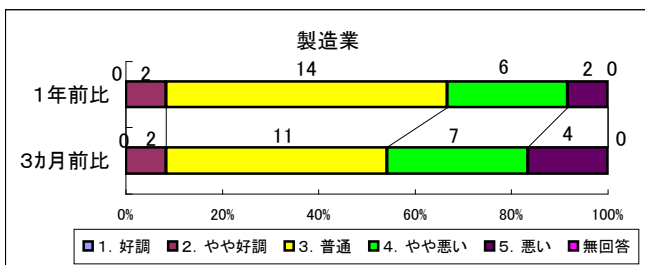
DI値	業界	経済全体	業界(前回)	経済(前回)
製造業	-37.5	-50.0	-42.3	-19.2
非製造業	-53.6	-50.0	-57.1	-32.1
全体	-46.2	-50.0	-50.0	-25.9



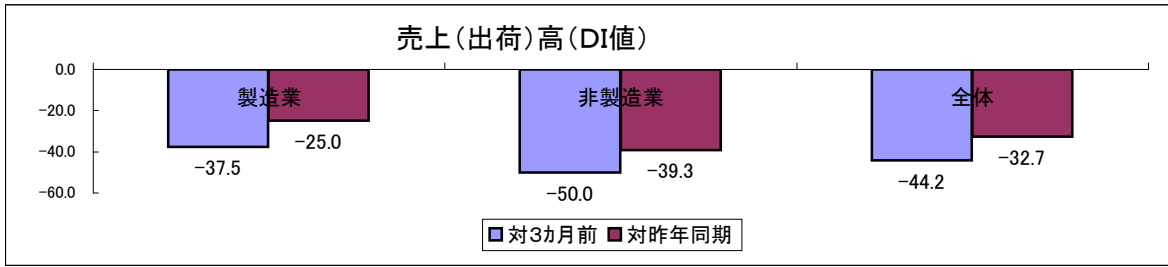
今後の業界景気予測は、製造業で4.8ポイント(以下、ポイントは省略)、非製造業では3.5、前回のDI値から改善を見せた。

経済全体の景気予測は、製造業で30.8、非製造業で17.9ダウン。いずれもDI値は▲50.0(以下、▲印はDI値のマイナス値を示す)であった。製造業では業界予測より経済全体予測の方が厳しい見方をされている。非製造業においては業界予測でDI値の改善が見られたが▲53.6であり、また経済全体予測においても▲50.0と両業種とも厳しい見通し結果となった。

2. 売上(出荷)高について



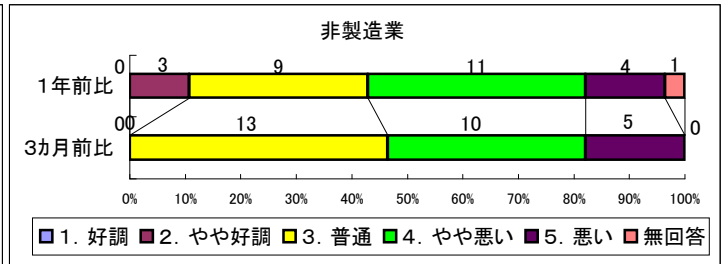
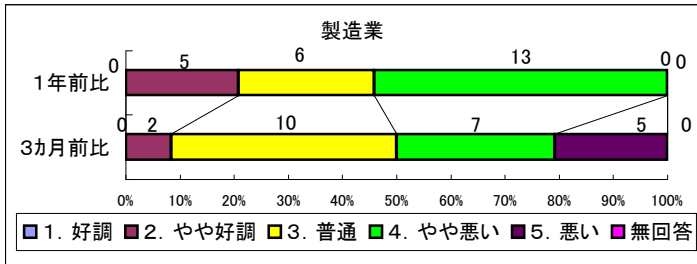
DI値	対3カ月前	対昨年同期	対3カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)
製造業	-37.5	-25.0	-23.1	-23.1
非製造業	-50.0	-39.3	-28.5	-17.9
全体	-44.2	-32.7	-25.8	-20.4



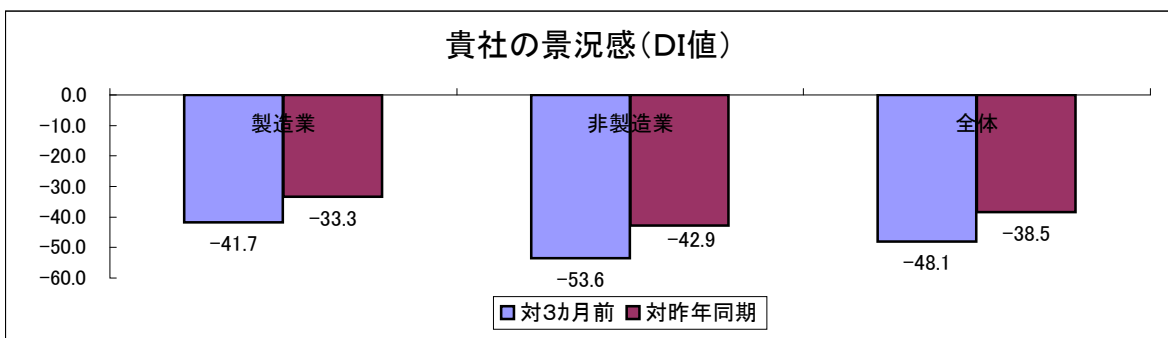
対三カ月前比では製造業が14.4ダウンの▲37.5となり、前回よりDI値がさらに低下した。非製造業でも21.5ダウンの▲50.0と大幅に低下した。

対前年比項目は、製造業で1.9ダウン。平成18年11月調査をピークに5期連続で低下している。前回DI値が大幅に改善した非製造業では21.4ダウンし、回復傾向にシフトするには至らなかった。

3. 貴社の景況感について



DI値	対3カ月前	対昨年同期	対3カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)
製造業	-41.7	-33.3	-23.2	-15.4
非製造業	-53.6	-42.9	-35.6	-35.7
全体	-48.1	-38.5	-29.6	-25.9

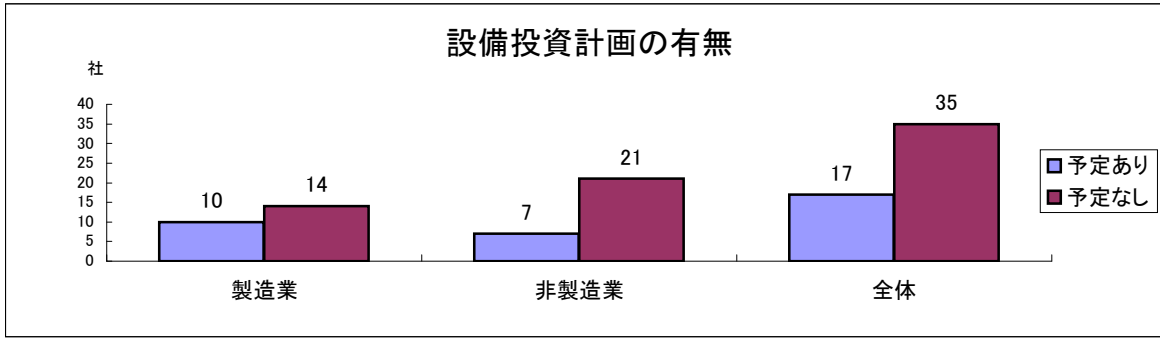


対三カ月前比では製造業が18.5ダウンの▲41.7となり、前回よりDI値がさらに低下した。非製造業でも18.0ダウンの▲53.6と大幅に低下した。

対前年比項目では、製造業が17.9ダウン。昨年同期調査よりDI値の低下が続いている。非製造業でも7.2ダウンの▲42.9と低位水準基調が続いている。

4. 設備投資計画について

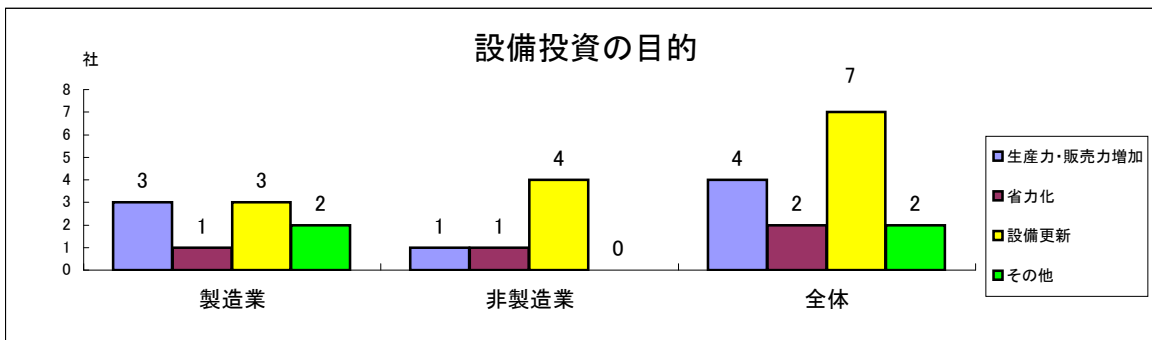
	予定あり	予定なし	無回答	合計
製造業	10 [41.7%]	14 [58.3%]	0 [0.0%]	24 [100.0%]
非製造業	7 [25.0%]	21 [75.0%]	0 [0.0%]	28 [100.0%]
全体	17 [32.7%]	35 [67.3%]	0 [0.0%]	52 [100.0%]



製造業では約42%、非製造業では約25%が設備投資を計画している。両業種とも設備投資予定割合が増加した。

5. 設備投資目的について

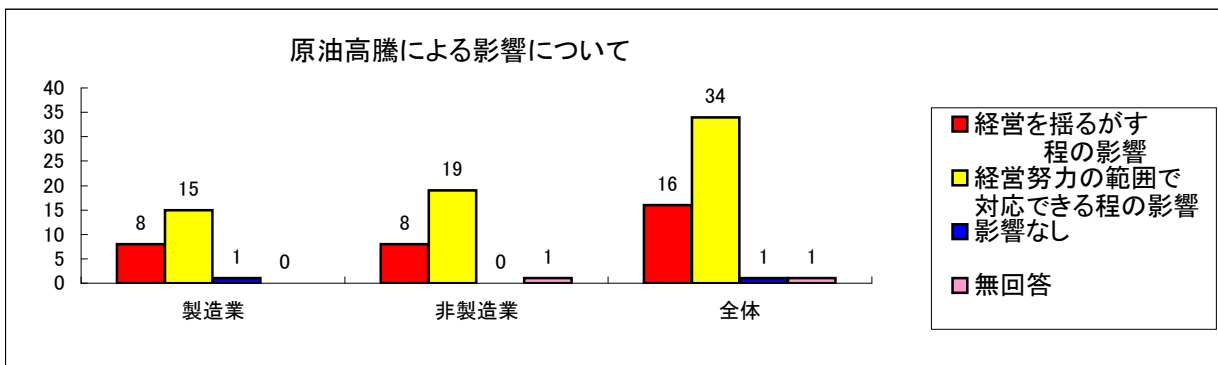
	生産力・販売力増加	省力化	設備更新	その他	合計
製造業	3	1	3	2	9
非製造業	1	1	4	0	6
全体	4	2	7	2	15



製造業の投資目的は「生産力・販売力増加」・「設備更新」、非製造業では「設備更新」が最も多く前回とまったく同じ結果となった。

6. 原油高騰による影響について

	経営を揺るがす程の影響	経営努力の範囲で対応できる程の影響	影響なし	無回答	合計
製造業	8 [33.3%]	15 [62.5%]	1 [4.2%]	0 [0.0%]	24 [100.0%]
非製造業	8 [28.6%]	19 [67.9%]	0 [0.0%]	1 [3.6%]	28 [100.0%]
全体	16 [30.8%]	34 [65.4%]	1 [1.9%]	1 [1.9%]	52 [100.0%]



両業種ともに「経営努力の範囲で対応できる程の影響」の回答が最も多い。製造業では「経営努力の範囲で対応できる程」との回答が前回の約53%から9%増加の約63%となった。

非製造業では「経営を揺るがす程」から「経営努力の範囲で対応できる程」へ回答割合(7%)がシフトした。

A. 調査概要

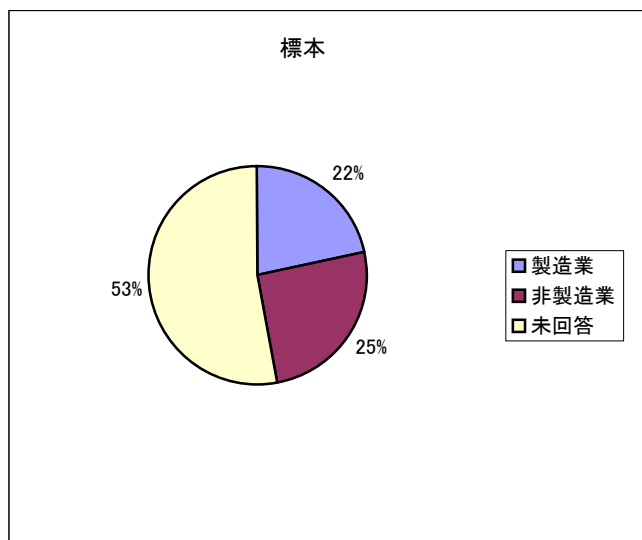
1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成20年2月1日～7日
3. 調査方法 FAXにより依頼、回答
4. 調査対象 当所部会役員128社中、大企業を除く中小企業113社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 標本数

	調査対象
一般工業	18
建設業	17
醬油工業	4
食品工業	10
皮革工業	17
公益業	13
サービス業	8
商業	26
合計	113

	調査対象	回答	回答
製造業	66	24	36.4%
非製造業	47	28	59.6%
合計	113	52	46.0%
未回答		59	52.2%



集計表

1) 今後の景気動向予測

項目	業界					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 持ち直す	1	4.2%	0	0.0%	1	1.9%
2. 現状で推移	13	54.2%	12	42.9%	25	48.1%
3. 今後悪化する	10	41.7%	15	53.6%	25	48.1%
無回答	0	0.0%	1	3.6%	1	1.9%
全体	24	100.0%	28	100.0%	52	100.0%
DI値		-37.5		-53.6		-46.2
DI値(前回-11月)		-42.3		-57.1		-50.0
		4.8		3.5		3.8

項目	経済全体					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 持ち直す	1	4.2%	0	0.0%	1	1.9%
2. 現状で推移	9	37.5%	13	46.4%	22	42.3%
3. 今後悪化する	13	54.2%	14	50.0%	27	51.9%
無回答	1	4.2%	1	3.6%	2	3.8%
全体	24	100.0%	28	100.0%	52	100.0%
DI値		-50.0		-50.0		-50.0
DI値(前回-11月)		-19.2		-32.1		-25.9
		-30.8		-17.9		-24.1

2) 売上(出荷)額について

項目	3カ月前比					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 好調	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. やや好調	2	8.3%	1	3.6%	3	5.8%
3. 普通	11	45.8%	12	42.9%	23	44.2%
4. やや悪い	7	29.2%	11	39.3%	18	34.6%
5. 悪い	4	16.7%	4	14.3%	8	15.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	24	100.0%	28	100.0%	52	100.0%
DI値		-37.5		-50.0		-44.2
DI値(前回-11月)		-23.1		-28.5		-25.8
		-14.4		-21.5		-18.4

項目	1年前比					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 好調	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. やや好調	2	8.3%	3	10.7%	5	9.6%
3. 普通	14	58.3%	11	39.3%	25	48.1%
4. やや悪い	6	25.0%	11	39.3%	17	32.7%
5. 悪い	2	8.3%	3	10.7%	5	9.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	24	100.0%	28	100.0%	52	100.0%
DI値		-25.0		-39.3		-32.7
DI値(前回-11月)		-23.1		-17.9		-20.4
		-1.9		-21.4		-12.3

3) 景況感について

項目	3カ月前比					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 好調	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. やや好調	2	8.3%	0	0.0%	2	3.8%
3. 普通	10	41.7%	13	46.4%	23	44.2%
4. やや悪い	7	29.2%	10	35.7%	17	32.7%
5. 悪い	5	20.8%	5	17.9%	10	19.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	24	100.0%	28	100.0%	52	100.0%
DI値		-41.7		-53.6		-48.1
DI値(前回-11月)		-23.2		-35.6		-29.6
		-18.5		-18.0		-18.5

項目	1年前比					
	製造業		非製造業		合計	
業種別						
1. 好調	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. やや好調	5	20.8%	3	10.7%	8	15.4%
3. 普通	6	25.0%	9	32.1%	15	28.8%
4. やや悪い	13	54.2%	11	39.3%	24	46.2%
5. 悪い	0	0.0%	4	14.3%	4	7.7%
無回答	0	0.0%	1	3.6%	1	1.9%
全体	24	100.0%	28	100.0%	52	100.0%
DI値		-33.3		-42.9		-38.5
DI値(前回-11月)		-15.4		-35.7		-25.9
		-17.9		-7.2		-12.6

4) 設備投資計画について

業種別	製造業		非製造業		合計	
1. 予定あり	10	41.7%	7	25.0%	17	32.7%
2. 予定なし	14	58.3%	21	75.0%	35	67.3%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	24	100.0%	28	100.0%	52	96.3%

5) 設備投資目的について

業種別	製造業		非製造業		合計	
1. 生産力・販売力増加	3	33.3%	1	16.7%	4	26.7%
2. 省力化	1	11.1%	1	16.7%	2	13.3%
3. 設備更新	3	33.3%	4	66.7%	7	46.7%
4. その他	2	22.2%	0	0.0%	2	13.3%
全体	9	100.0%	6	100.0%	15	100.0%

6) 原油高騰による影響について

業種別	製造業		非製造業		合計	
1. 経営を揺るがす程の影響	8	33.3%	8	28.6%	16	30.8%
2. 経営努力の範囲で対応できる程の影響	15	62.5%	19	67.9%	34	65.4%
3. 影響なし	1	4.2%	0	0.0%	1	1.9%
4. 無回答	0	0.0%	1	3.6%	1	1.9%
全体	24	100.0%	28	100.0%	52	100.0%